

## 講師のみなさまへ

このたびは、第11回折紙探偵団コンベンションの講師をお引き受けいただきありがとうございます。  
以下の点をご確認ください。

### プログラムについて

プログラムは、8/19（金）～8/20（日）に会場でお渡します。

プログラムは、1週間前を目処に、以下のURLでも確認できるようにします。

<http://origami.gr.jp/Convention/05/>

### 講習作品の展示について

講習日の9:00までに、会場の展示スペースに講習作品を展示してください。

来場が遅れる場合は、あらかじめ送っていただいた写真のみの展示となります。

展示ラベルに、「作者からひとこと」という欄をつくります。

難易度のほかに条件（「講習には折り図集が必須」「展開図折りができるひと」など）があるかたは、当日に記入してください。来場が遅れる場合は、あらかじめ連絡してください。

展示作品が「撮影不可」「撮影画像のウェブ掲載不可」の場合は、当日、展示ラベルに、それらの制限を示すシールを貼っていただきます。

### お願い

ご存知のように、折紙探偵団コンベンションは、すべてがボランティア活動によって成り立ち、一般の参加者と講師が同じ立場で参加している催しです。

しかし、イベントの規模が大きくなるにつれて、いわゆる「お客さん」として参加しているかたも増えてきました。これは、避けられない傾向であり、また、初心者や初参加者のかたにとってはやむを得ないことでもあります。

講師のかたには、そうした実情も理解していただき、自らが講習を楽しむとともに、初心者や初参加者のかたであっても、戸惑いのない講習をしていただくようお願いいたします。

そのために、講習にあたっては、以下の点を確認してください。

作品の紹介（創作者、出典）と自己紹介を忘れずに行ってください。

最初に受講票を受け取り、受講者の参加資格を確認してください。

受講者全員に眼を配り、わかりやすい講習を心がけてください。

問題が発生した場合は、評議員（インフォメーションデスクに少なくとも1名がいます）に連絡してください。

なお、講師にとって頭の痛い「受講者と講習作品のレベルの不一致」についてですが、初心者が難易度の高い教室を選択しないようにすることは、以前にも増して徹底させるつもりです。

また、裏面に、よりよい講習となるためのヒントを記しました。

気にしすぎる必要はありませんが、参考にしてください。

では、コンベンションの当日はよろしく申し上げます。

# 講習ヒント集

## 1. 講習を始める時は

1 - 1. 自己紹介と講習作品の説明をしましょう。

\* 作品について：用紙の大きさ（枚数）などについての説明をします。

（ほかにも裏表どちらを上にして始めるかなど必要と思われることを説明）

- 挨拶 -

受講者は（講師も同様だと思いますが）最初は少なからず不安を抱いています。

挨拶はコミュニケーションの第一歩。最初に大きな声で挨拶することにより、講習がスムーズに展開できます。最初が肝心です。

## 2. より良い講習内容にするために

2 - 1. 決められた時間内に講習を終了するために時間配分に注意しましょう。

（つまづいている人に合わせていると時間内に終わらないことがあります。）

（中間地点などで進行状況を確認しながらペース配分します。）

2 - 2. 時間が余ったら、簡単な作品を教えるなど、受講者が時間を持て余すことのないようにしましょう。

2 - 3. 分かりにくい箇所がある場合は、

受講者と同じ向きになって（黒板のほうを向いて）折って見せましょう。

「ここは難しいです」「手を止めてよく見てください」のように言って、受講者の注意を喚起するようにしましょう。

黒板を利用したり、その部分だけ拡大した見本を用意するなどの工夫もするとよいでしょう。

2 - 4. 「分からなかったら気軽に質問してください」と、ことあるごとに言って、質問しやすい雰囲気を作りましょう。

（分からない人、遅れている人がいないか、常に確認しながら工程を進めましょう。）

（教室内をときどき巡回しましょう。その方が受講者も質問しやすいです。）

2 - 5. 見本は常に高く掲げて、受講者によく見えるようにして折りましょう。

（手もとでゴソゴソと折らないように）

2 - 6. 講師本人が使用する用紙は、（出来るだけ）大きな紙で表裏の色が違うものを使用しましょう。

\* 用紙の色や紙質によっては折り筋が見にくい場合もあります。

また、講師の服の色も影響する場合がありますので、事前に確かめておきましょう。

2 - 7. 初心者には特に順序だてて話す必要があります。

そのためにも、事前に折り手順を整理（確認）しておきましょう。